

# 学校図書館支援センター通信 NO.105 11月号

平成28年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 福栄中学校 「4年目教員 授業力アップ研修会」10月31日(月)

6月に、市内5名の先生方の学校図書館を活用した授業を参観しました。協議会では図書資料を活用した模擬授業を体験したり、意見交流をしたりしました。

4年目教員の皆さんは、研修会で学んだことを基にして、学校図書館を活用した授業を計画し、実践しているところです。今回は、福栄中学校の佐藤史織教諭の授業の取組を紹介します。

2年生 国語 単元名「短歌先生になろう」 題材「近代の短歌」(教育出版)

学習の流れは、短歌の知識を学び、図書資料を使って教科書に載っている短歌について調べ、グループごとに個人で調べたことを共有し、最後に調べたことを発表します。佐藤史織教諭は、短歌の学習は



受身な授業になりやすいため、図書資料を活用することで自ら学び、自ら知識を増やすことで主体的な学習につながり、理解が深まると考えました。図書資料は、図書資料相互利用システムで、教科書に載っている短歌が書かれている本に限定して集めました。調べる時間を確保するために、学校司書が何冊か短歌が載っているページに付箋を付け、限られた時間内で調べ学習ができるように工夫されていました。



## 鬼高小学校 作家講演会 「あまんきみこさん」10月27日(木)



鬼高小学校では、あまんきみこさんをお招きして、低学年・高学年に分かれ、作家講演会が行われました。高学年の部では、体育館へあまんさんを案内することから司会進行まで全て、図書委員会の子供たちが進めていました。

4年生は、国語「白いぼうし」に登場するタクシー運転手の松井さんになりきって、不思議な出来事があった日の日記を書き、あまんさんに紹介しました。5年生は、国語であまんさんの作品を読んでビブリオバトルをして各クラスでチャンピオンを決め、作家講演会でその作品について読みたくなるような紹介をしました。6年生は、総合的な学習の時間で「人生の先輩 いろいろな生き方」の学習をしているため、作家の仕事について質問をしました。「読み手を引きつける作品づくりの秘訣は何ですか?」という6年生からの質問に、「書いては消し、書いては消しと何度も書き直す中で、私も書くことで新しいことを見つけたり、発見したり、ドキドキしたりすることかしら」とおっしゃっていました。

最後に、あまんさんが中学生の頃に、学校の先生から教わった詩を紹介してくださいました。「想像することで世界が広がる。想像する喜びが生きていく力となる。」と優しい声で、大切なメッセージを伝えてくださいました。

「無垢の予兆」ウィリアム・ブレイク  
一粒の砂にも 世界を  
一輪の野の花にも 天国を見、  
君の掌のうちに 無限を  
一時のうちに 永遠を握る。

松島正一編「対訳ブレイク詩集 イギリス詩人編(4)」  
岩波書店、2004年、345ページ



## 図書館の窓から ～ひろげよう! 図書館の輪・リレー執筆～

7月25日(月)26日(火)に「夏休み図書館開放」を実施しました。図書の返却と貸出に加え、子供たちは、思い思いにペーパークラフト『するするのぼり虫』『ぴよんぴよんうさぎ』を作りました。

両日あわせて113名が参加し、第一・第二図書室の席は満席となり、急遽、臨時の席も用意したほど、熱気にあふれていました。完成した『するするのぼり虫』のクワガタやカブト虫で友だち同士、競争したり、『ぴよんぴよんうさぎ』で、ジャンピングを楽しんだりしました。異学年との交流を楽しみながら、長い休みに向けて、図書に親むきかけの一つとなりました。

(市川市立国分小学校 学校司書 多勢 千夏)



夏休み図書館開放の様子

## 国分小学校 確かな学びの早道「読書」事業 10月19日(水)



千葉県教育委員会『確かな学びの早道「読書」事業』の取組は、子供たちが読書に親む環境づくりや読書指導の充実を図り、読書好きな子供を育成することがねらいです。

実践協力校の指定を受けている国分小学校では、1年生の授業が行われました。大型絵本「にじいろのしまうま」の読み聞かせに、子供たちはじっくり耳を傾かせ、時にはつぶやきながら本の世界を楽しんでいました。2年生に紹介するお薦めの本を選ぶ前には、まず読書記録を振り返り、今まで自分が読んだ本を確認する子供の姿が何人も見られました。最後に、お薦めの本を紹介する葉書を書く活動を行いました。葉書を書く前に、担任と学校司書が葉書の見本を見せ、書き方を丁寧に指導されていました。学校図書館環境も整備され、本の取り扱い方については言葉だけでなく、写真を加えることで、誰でも分かる掲示物が作成されていました。



## 学校図書館活用授業時間数調査(前期)

教科等	活用時間数
国語	10,708
社会	1,336
算数・数学	15
理科・生活科	1,380
音楽	18
図工・美術	659
体育・保健	67
家庭科・技術科	125
外国語・英語	226
総合	3,518
道徳	71
特別活動	112
その他	80
合計	18,315

学校図書館活用授業時間数調査の結果をお知らせします。小中義務教育学校の合計が18,315時間で、昨年度より外国語・英語での活用が増えました。後期も多くの教科で有効活用していただきたいと思います。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

